

原子力災害に備えて

新潟県原子力防災訓練が行われます

■問合せ…市民安全課 原子力防災対策室 (☎025-520-5663)

当市では、UPZ（柏崎刈羽原子力発電所からおおむね5～30km圏内）にお住まいの皆さんを対象に次のとおり訓練を行います。

▶と き

10月29日(土)午前8時30分～9時30分（予定）

▶対象地域

柿崎区と吉川区の全町内会、大潟区雁子浜・内雁子町内会、大島区板山・田麦・竹平・藤尾町内会、浦川原区小麦平町内会

▶訓練内容

- ①屋内退避訓練 ②広報活動訓練 ③安定ヨウ素剤緊急配布訓練
④バスによる避難経由所・避難所までの移動体験 ⑤スクリーニングおよび簡易除染体験など
※③～⑤は柿崎区下黒川地区の18町内会を対象に行われます。

訓練は次の行動をポイントに行います。訓練の対象地域外にお住まいの皆さんも、万が一の際に取るべき行動を確認しましょう。

原子力災害から身を守る4つの行動

①正確な情報の入手

テレビ、ラジオ、防災行政無線などで市（国・県含む）の発信する正確な情報を入手します。



②まずは屋内退避

市から「屋内退避指示」が出たら、建物内に避難します。屋内退避によって、放射性物質の付着や吸入を防ぐことができます。



③屋内退避の継続

「屋内退避指示」の解除や「避難指示」が出るまでは屋内退避を継続します。「屋内退避指示」が出ている間は、むやみに外出しないようにします。



④避難指示が出たら避難

測定した空間放射線量が高い区域には「避難指示」が出ます。避難対象の区域にお住まいの皆さんは市の指示に従い行動します。



原子力防災に関する市の取り組み ～実効性のある避難体制の整備に向けて～

市では、原子力災害時に市民が安全に避難できるよう、国、県、関係市町村などと共に広域避難の課題解決を進めながら、実効性のある避難体制の整備に向け取り組んでいます。今年度は、大雪と原子力災害の複合災害時における屋内退避や避難などの基本的な対応や安定ヨウ素剤の事前配布などについて、検討を進めています。



防災一口メモ 「安定ヨウ素剤」って何？

「安定ヨウ素剤」は、原子力災害時に放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくの予防または低減を目的とした医療用医薬品で、丸剤、ゼリー剤および散剤があります。「安定ヨウ素剤」の効果は、放射性ヨウ素が甲状腺に集積することを防いだり、集積する量を低減したりすることに限定されています。また、「安定ヨウ素剤」の服用を優先すべき人は、妊婦、授乳婦および未成年者（乳幼児含む）とされ、40歳以上の人への服用効果はほとんど期待できないとされています。「安定ヨウ素剤」の服用効果を十分に得るためには、服用のタイミングが重要であるため、国または県・市町村の指示を受けて服用することとなります。

※「原子力防災に関する市の取り組み」、「上越市原子力防災ガイドブック」、「上越市原子力災害に備えた屋内退避・避難計画」を市ホームページに掲載しています。

